

令和6年10月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和6年10月21日(月) 午前9時00分
白石町役場(3階 大会議室)
- 2 出席委員 北村教育長 松尾委員 堤委員 川崎委員 一ノ瀬委員
- 3 事務局職員 久原学校教育課長 矢川生涯学習課長 鶴田主任指導主事
永尾生涯学習課長補佐 喜多指導主事 堤教育総務係長
今福学校教育係長 本山推進係長 稲富生涯スポーツ係長
下平指導主事 武富指導主事
- 4 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 5 会議に附した議案 附議第34号 教育功労者の表彰について
- 6 動議の提出者 なし
- 7 議事の概要 別紙資料のとおり
- 8 議決事項 附議第34号 議決
- 9 その他
 - ・事務局からの報告
 - ・傍聴者 なし

1 開 会 8:59～

久原課長

2 前回議事録の承認 9:01～

9月定例教育委員会の会議録を資料により説明。

委員全員承認

3 教育長の報告 9:04～

(前回以降の主な動向)

資料より数点を内容紹介。

9/26 有明3小学校の55名がふれあい体験学習という事で、波戸岬少年自然の家で宿泊体験が実施されました(～27日)

9/27 杵島・武雄地区中学校駅伝大会が福富マイランド公園のコースで開催され、女子が3位になり11月8日の県大会に出場されます。男子は9位でした。

9/29 親子で楽しむプチキャンプが有明の遊喜館で開催されました。22名が参加され、火起こし体験や親子で料理を作り、いい体験となりました。

9/29 ねんりんピックに出場される3名の方が表敬訪問されました。弓道に出場される白濱博文さんと片渕一廣さん、健康麻雀に出場される田中捷己さんが訪問されました。

10/6 天皇皇后両陛下下行幸啓がなされ、福富ゆうあい館にて休憩及び昼食をとられました。

10/17 宮崎県の小林市より学校再編の先進地という事で視察がありました。

資料により概要の報告

- ・西部教育事務所では、比較的経験年数の浅い職員のサポートを行うため、ホームページの開設準備がなされています。
- ・学力向上フォーラムが11月16日(土)に上峰町民センターで開催されます。
- ・令和6年11月1日より道路交通法が改正され、自転車の危険な運転に対し、新しく罰則が整備されています。
- ・9月の交通事故発生(加害等)状況ですが、杵西・藤津地区では事故は起きていません。
- ・西部教育事務所主催でペーパーティーチャー講座(学校見学会)が開催されます。

4 連絡事項 9:20～

(1) 問題行動等月別報告について

武富指導主事：資料により詳細説明。

9月末現在での不登校の件ですが、小学校で17名、中学校で41名となっています。いじめについては、小学校については覚知が5件、認知が4件、解消が4件となっています。中学校については覚知が1件、認知が1件、解消が3件となっています。学校と家庭との連携が必要であり、各学校では様々な問題等を抱える子ども達に対して、よく対応していただいています。

久原課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

(全委員承諾)

(2) チーム担任制について

喜多指導主事：資料により詳細説明。

「チーム担任制」とは、児童が複数の教員の関わりの中で学ぶシステムであり、学級担任等が孤立することなく、学校教育に対して組織的に取り組むことによって、教育活動への成果が効率的・効果的になるように共通理解を行う場を設けること。今後、導入に向け関係機関への説明を行い、令和7年度に町内の小学校のうち、2校程度を選定しモデル校として実践研究を行い、令和8年度からの町内全小学校への導入を目指す予定としています。

久原課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

一ノ瀬委員：導入する事は変えられない状況だというふうに新聞等を見て感じています。不登校の生徒に対応する場合でも、先生との関係性がうまくいっていない場合、それからの1年間は大変な状況になります。そこに複数の担任で対応していくと、それは不登校の解消等にも繋がると思われるため、導入する方向は変えられないと思います。あと先生達への負担感及び抵抗感を考慮し、導入方法について検討する必要があると思います。やはり、先生達が納得しないとスムーズにいかないという感じがしています。

堤 委員：今年より定年延長制が始まっており、鹿児島県では小学校1.1倍の倍率で定年延長しているにも関わらず、おそらく倍率が1を切るのは間違いなく全国的な傾向なので、定年延長5年を終わった上で、尚且つそこから5年の70歳まで再任するような制度にしないと無理だと思います。そうすると小学校の先生の半分程は60代後半の先生

が担任だという時代がくる事は避けられないと思われます。実際に運用しようとした場合、先程組み合わせの話がありましたが、規模が大きい学校であれば組み合わせのパターンも色々考えられると思いますが、規模が小さい学校となると、教員数が限られている中での選択となるため、非常に難しいと思います。チーム制で例えば、異なる専門分野の人達が集まりチームを作るケースと、同じ専門分野の人達が集まり、今まで1人で行っていたことを、複数で行うという二つのケースが考えられ、どちらも何かしら問題があると思われますが、多分この場合は、同じ専門分野の人達が集まって1人で行っていたことを、複数でやっていくという形だと思います。やはり上下関係がある中で、チームで対応することは、なかなか難しいと思います。規模が小さい学校でもあるため、調整の難しさが出てくるのではと感じたところです。

それと有明地域の小学校は令和8年度で統合されるためいいのですが、白石地域の場合、白石小学校以外の3校（須古、六角、北明）が数年後には複式になった場合、最初に2年生、3年生からの複式スタートで、その組み合わせが3校とも出てくると思います。その辺り町費で補えたらいいのですが、なかなか難しい状況でもあるため、何か検討されていますか。

喜多指導主事：複式の問題もあり、町費で1人分の予算を出していただけるのであれば、六角小学校を先行事例という形で行い、他の小学校も同じような形で複式を解消できるようにしていければと考えています。

堤 委員：予算が付いたとして、ただでさえ教員採用試験を受ける人がいない中で、果たして引き受ける人がいるかという問題も出てくるのではないかと思います。

北村教育長：ご承知のように令和7年度に六角小学校の2年生、3年生が複式になりますので、議会でも話をさせていただき、財政面での支援をしていただけることになりました。せめて国語と算数の2教科を補えればと思います。佐賀県は1つの学校に3つ複式が発生した場合、定数1加配するという制度になっています。現実的な支援策を考えてほしいということで、白石町だけでの申し入れではなかなか厳しいため、県の教育長会全体として、お願いしています。

久原課長：この件について、他にないでしょうか。

（全委員承諾）

(3) 旧福富中備品等譲渡会の開催について

今福係長：資料により詳細説明。

令和6年3月末をもって閉校となった福富中学校の備品について、福富地域の方々へ譲渡会（無償譲渡）を開催する予定です。

日 時：令和6年11月25日（月）と26日（火）の2日間

※雨天決行

時 間：午前9時～午後4時30分

対象者：福富中学校区（福富地域）在住の方のみとします。

久原課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

堤 委員：1つ目に配布チラシの注意事項に事業者の方の立ち入りはお断りしますと記載がありますが、どういう事業者を想定されているのかということですが、例えばお店を営んでいる方が、自分のところで棚を使いたいという、個人商店の方が入るのも事業者とするのか、あるいは中古品をたくさん取り扱うような事業者を断るのかというのが、はっきりしない感じがします。個人商店を営んでいる事業者も断るとなると、ほとんど自宅で使うということになりますし、農業者についても事業者だということになるので、微妙な部分が出てくると思われます。

2つ目は、福富地域に限定するなら、限定する理由を問われたときに、例えば、町内全域から一斉に人が来られた場合、対応できないから限定したのか、あるいは福富中学校という思い出の場所に対する帰属意識等の理由を明確にした方がいいと思います。

3つ目は、何をもって福富地域の人とするのか、福富中学校出身だが、今は町内の別の場所に住んでいるとか、結構そういうことがあるので、整理する必要があると思われます。

今福係長：まず事業者の方の立ち入りはお断りしますということですが、想定していたのは、いわゆる中古品を取り扱う業者の方に対してお断りしますという記載内容をしています。福富地域の方限定としていきますので、福富地域で事業を営まれている方については、対象になるという様な表記を考えたいと思います。

福富地域に限定した理由ですが、先ほど堤委員さんが言われた通り地域への思いもあります。もう1つが、今後、有明地域、白石地域の小学校が統合となる場合、白石地域限定、有明地域限定ということで、考えています。

何をもって福富地域の人とするのかということですが、厳密にすれば、例えば運転免許証での住所確認等になるかと思いますが、今回

はこのチラシをご覧になった福富地域の方々の良心におまかせしたいと思います。

川崎委員：譲渡会后、想定以上に物が残った場合、どうされますか。

今福係長：校舎の取り壊しの際に処分することになります。

久原課長：この件について、他にないでしょうか。

(全委員承諾)

(4) 令和6年度「白石町教育の明日を考える集会」について

吉原課長補佐：資料により詳細説明。

目 的：白石町の教育の現状について町民の理解を深めるとともに、将来の教育の方向性について町民が考え、意見交換する場を設定するために開催する。

主 催：白石町教育委員会

共 催：白石町教育研究会、杵島郡 PTA 連合会

開催期日：毎年 12 月の第 1 日曜日 (白石町教育の日)

※本年は令和 6 年 12 月 1 日 (日)

参 加 者：白石町民及び町内教職員等

講 演 1：映画「ら・かんぱねら」ダイジェスト版試写会
監督挨拶 (監督 鈴木一美 氏)

講 演 2：演題：「心がかぜをひくとき」～“安心感”と自立～
講師 吉村春生 氏

西九州大学非常勤講師、臨床心理士、公認心理師

久原課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

(全委員承諾)

(5) 第 28 回歌垣の郷ロードレース大会について

稲富係長：資料により詳細説明。

日 時：令和 7 年 3 月 2 日 (日)

時 間：午前 8 時 30 分 (開始式) 午前 9 時 00 分 (競技スタート)

種 目：3 km の部、2 km の部、5 km の部、10 km の部

ファミリージョギング (2 km)

会 場：白石町総合運動場周辺

久原課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

(全委員承諾)

(6) 11月の行事予定表について

堤 係長：資料により詳細説明。

久原課長：この件について、ご質問等ないでしょうか。

(全委員承諾)

(7) 白石町中学校生徒派遣費補助金交付要綱の修正について

今福係長：資料により詳細説明。

交付要綱の改正については、7月の教育委員会に附議し承認を得ましたが、堤委員さんより町外クラブの引率者がおられる場合についての指摘がありましたので、その一部修正について説明します。例えば佐賀市在住の方が引率者として来られた場合、対象者になるのかという部分について、修正させていただきたいと思います。対象者については、あくまで白石町立中学校の生徒のみを対象と考えて修正しています。あと引率者については、白石町に住民票を有する者と限定したいと考えています。ですから、町外に住民票を有する者が白石町立中学校の生徒を引率された場合、対象外とさせていただきたいと考えています。

堤 委員：例えば、白石町の子どもが佐賀市内の地域クラブで活動し、尚且つその指導者が白石町在住である場合はどうなるかなど、色々なケースが今後出てくると思われます。結局、町として何をサポートしたいのかを明確にした上で、修正していくことになると思います。

久原課長：この件について、他にないでしょうか。

(全委員承諾)

久原課長：次回の教育委員会の日程を決めたいと思いますが、11月19日（火）もしくは11月21日（木）で考えていますが、いかがでしょうか。それでは、11月19日、火曜日の午前9時00分から開催したいと思います。

(全委員承諾)

5 議 事 10:56～

附議第34号 教育功労者の表彰について

吉原課長補佐：資料により詳細説明。

12月1日（日）に開催されます「白石町教育の明日を考える集会」で表彰を行う予定です。今回は、6名の方と2つの団体を表彰する予定であり、学校医として在職20年以上であり、特別

教育功労表彰に該当される方が3名、学校医として在職15年以上であり、教育功労表彰に該当される方が1名、2名と2つの団体が、教育の振興のために金品を寄贈されています。

教 育 長：6名と2つの団体ということでよろしいでしょうか。

委員全員承認（附議第34号）

6 閉 会 11：01

久原課長